

黒埼町柔道連盟が全国大会へ

(第十四BSN少年柔道大会兼全国少年柔道大会予選で優勝する。)

三月三十一日(日)、新潟市鳥屋野総合体育館で小学校五、六年生を対象に行われた「第十回BSN少年柔道大会兼全国少年柔道大会予選」において、黒埼町柔道連盟が、前年優勝の強豪、白根市柔道教室を僅差で破り優勝、全国大会へのキップを手に入れた。

「全国少年柔道大会は、初めてで自信はなく、とにかく一勝を上げたい」と、監督の浅妻さんは謙虚に話している。しかし、過去、昨年を含め、別の大大会である、日整全国少年柔道大会に二回出場し最高位三位を上げていた。今回のBSN大会でも対新発田四一、対安田五〇、対栃尾五〇、対小須戸四一〇と危なげなく順当に勝ち進んできた。決勝戦でこそ白根に一〇と、次鋒村山くんの内股で、わざありという僅差での優勝であったが、県内では常に実力は上位であり、全国大会での活躍も十分期待できる。

「決勝戦は予想以上に厳しく、選手はくたくたになった。試合後、普通ならガッツポーズなどの喜びを体で表現するところだが、子供たちはぐったりとうなだれていた。しかし、喜びがなかったわけではなく、心の中では今までの感動が



写真/前列右から、次鋒の村山克起くん、中堅の志賀恵美子さん、先鋒の国原頼子さん、後列右から、大将の天尾真太郎くん、監督の浅妻泰介さん、副将の吉澤隆治くん。

あったはず」と監督はいう。さらに「一生懸命やることで巡りあえる感動は、子供たちの人生の中で、数少ない貴重な経験となる。また、勝敗だけにこだわるわけではないが、勝つためには精神的な強さが要求される。勝とう、という目的を持つことにより、今自分は何をしなければいけないか、何を一生懸命にやるべきか、健康管理を行い、ケガに気をつける、といった過程を経ることによって、精神的なたくましさも身に

あつたはず」と監督はいう。さらに「一生懸命やることで巡りあえる感動は、子供たちの人生の中で、数少ない貴重な経験となる。また、勝敗だけにこだわるわけではないが、勝つためには精神的な強さが要求される。勝とう、という目的を持つことにより、今自分は何をしなければいけないか、何を一生懸命にやるべきか、健康管理を行い、ケガに気をつける、といった過程を経ることによって、精神的なたくましさも身に

れる。勝とう、という目的を持つことにより、今自分は何をしなければいけないか、何を一生懸命にやるべきか、健康管理を行い、ケガに気をつける、といった過程を経ることによって、精神的なたくましさも身に

つくはず」と技術的なことだけでなく、子供たちに柔道を通して大きく物事を学んでほしいと監督は考えている。

全国大会に向け、練習に励む選手たちに一言聞いてみた。「自分の柔道をしたい」先鋒・国原頼子さん。「負けてもいいので、自分から攻めていく」次鋒・村山克起くん。「相手が大きくても、自分から攻めていく」中堅・志賀恵美子さん。「負けてもいいから、精一杯がんばりたい」副将・吉澤隆治くん。「勝負にこだわらず、自分の柔道をする」大将・天尾真太郎くん。ぜひとも、全国大会で好成績をとってもらいたいものだ。

第十六回全国少年柔道大会は、五月五日(日)に東京都の講道館にて行われます。なお、団体戦の他個人戦では、五年生として国原さん、六年生として天尾くんが出場します。

「人の動き」

3月末日現在	(前月比)	(前年同月比)
人口	24,289 (+46)	(+324)
男	11,893 (+15)	(+128)
女	12,396 (+31)	(+196)
世帯	7,053 (+69)	(+273)

3月1日~末日

出生	17	転入	252
婚姻	35	転出	212
死亡	11		

新発田県
黒埼町

「弟の戦争」
ロバート・ウェストール著
徳間書店

イギリスの児童文学者の1992年の作品。主人公の『僕』は15才、12才の弟は数年一度、遠隔地にいる見知らぬ人間の魂に、突然取り憑かれるのだった。そんな弟に湾岸戦争とともに取り憑いたのはイラクの少年兵ラティーフだった。そして『僕』はラティーフの目を通して戦場での幼い心の恐怖と憎しみをまのあたりにするのだった。ゲームのような映像を流し続けたあの湾岸戦争から5年が過ぎたが、あの砲弾の下にも私たちと同じように多くの人々の生活があったのだと実感させられます。装丁は地味ですが、久しぶりに時間を忘れました。

(中山佳奈恵)

2002年ワールドカップ フレンドリークラブ 会集

主催/2002年ワールドカップ日本招致委員会
財団法人 日本サッカー協会

※問い合わせ 黒埼町教育委員会総合体育館
☎ 377-5211

昔様はじめまして、このたび四月の人事異動でめでたく、広報担当になりました、渡部です。一読者だった、昨年とは正反對の立場。今年はどうなることや、不安と期待で一杯です。と書いていますが、実はこの号の締め切りに追われ四苦八苦しています。来月号からは、余裕を持って、精一杯、しかし楽しみながらやりたいと思います。▼ご意見、ご要望がありましたら、☎377-3101内線335へ、ご連絡ください。お待ちしております。

◎さて、来月号では……。実はまだ何をお知らせするか決まっています。皆さんの身近な話題、出来事、紹介したい人、された人など募集しています。

編集/小野塚印刷 経費一節六十九円